

性能

測定方式：反射式二段切換

測定範囲：高輝度EV10～17 (ASA100)

低輝度EV3～10 (ASA100)

受光角度：高輝度52°/低輝度64°

EV目盛：1～18

ASA目盛：6～6,400

DIN目盛：9～42

絞り目盛：f 1.4～22

シャッター目盛：4～ $\frac{1}{1000}$ 秒

サイズ：73×47×24mm

重量：58g

ハンディな露出計

セコニック オートレンジ model L-216

CdS / 高低二段切換 / 反射式

新宿区市ヶ谷田町3-8 新杆ビル2階

セコニックサービスステーション

TEL (269) 7241～4

発売元：株式会社 **コパル**

東京都豊島区東池袋1-6-4〈伊藤ビル〉(984) 2561

大阪営業所：大阪市東区本町2-25〈本町ビジネスビル〉
(251) 1621～3

名古屋サービスセンター：名古屋市東区武平町4-17 (962) 3981

福岡サービスセンター：福岡市奈良屋町1-20〈奈良屋ビル〉(29)3631

製造元：株式会社 **セコニック**

日本橋サービスステーション：東京都中央区日本橋本石町3-4
(270) 3761

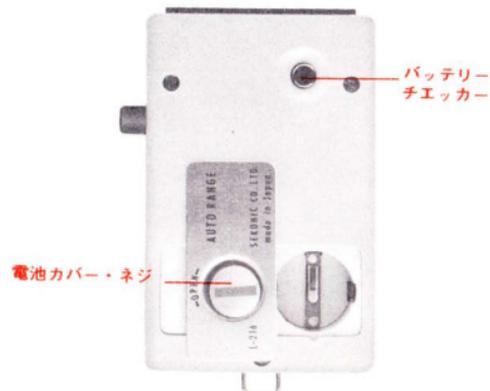
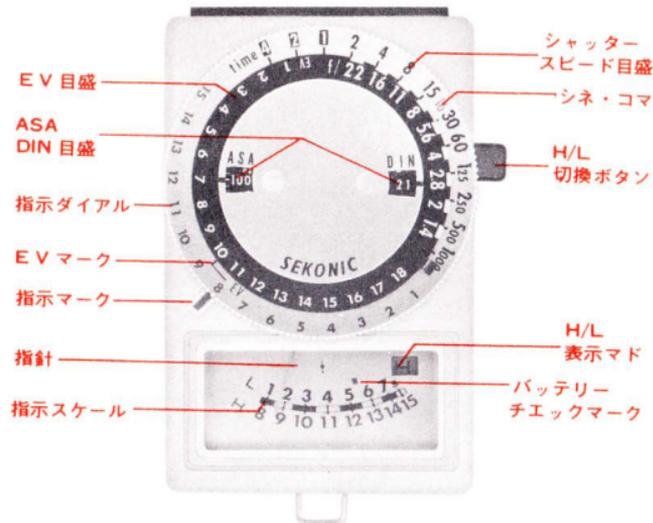
軽快なCdS露出計

写真を楽しむ人のための軽快な露出計。薄型ですから胸のポケットにも小さくおさまり携帯に便利です。重さは58g、例えてみればたばこのハイライト3個、手帳1冊の軽さです。カメラを手にしたら必ずこのメーターをポケットにしのばせてください。

本格的性能で使い易い

受光角は52°、これは35mmカメラの標準レンズに近いので、風景写真やスナップ写真に最適です。精度はCdSシステムで高級機なみ、手の中に入れば片手でらくに操作できます。速写用の露出計としてもお使い頂けます。

セコニックが写真にうるさいアマチュアカメラマンのために設計した露出計をフルにご愛用ください。



●操作法●

●ASA感度セット●

ASAダイヤルツマミを回わして、ASAマドに使用するフィルム
のASA ナンバーを合わせます。

●L-216型の読み方●

受光部を被写体に向けると指針が振れます。戸外など
明るい場所ではH/L表示マドを“H”(赤色)の状態
で測定し、指示スケールの赤系列(8~15)を読
取ります。また光量が不足で指針が振れない
場合にはH/Lボタンを押してください。ボタ
ンを押すとH/L表示マドは“L”(黒色)に
なり、指示スケールは黒字のL系列(1~7)
を読取ります。

指示スケールと指示ダイヤルは同系列です
から、ダイヤル上のスケールと同じ値を、
緑のマーク(指示マーク)に合わせます。
例えば指針がスケールで10を示したと
すればダイヤルの10を緑に合わせます—
写真参照
このときのシャッタースピードダイヤル
と絞りダイヤルの組合わせが求める露出
になります。
シャッタースピードダイヤルの数字2、4、
8、15…は $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ 、 $\frac{1}{15}$ …秒の意
味であり、①、②、④は1秒以上です。
30の下にある赤い点はシネ撮影の16
コマ表示です。

●EV値●

EV値はEV指示マークの先端(L EV)で
表示します。EV (EVS、LVSも同じ意味)
システムカメラの場合には、ダイヤル
の操作は前項と同じですがこのEV値
によって露出のセッティングをします。

●バッテリーのチェック及び交換●

セコニックオートレンジL-216型はCdS
を受光体に使っていますので1.3Vの水
銀電池を電源に使用します。使用でき
る市販の電池はナショナルM-D、東芝
TH-MC、Mallory PX 625、Eveready
E 625 などです。水銀電池は普通の乾
電池のように次第に電圧が下降するの
ではなく、電圧は急激に消耗して低下
します。従って、バッテリーチェッカー
(写真参照)を押しても指針がスケール
上のチェックマークまで達しない場
合には新しい電池に交換してください。

●交換の方法●

メーターの裏面の電池室カバーを銅貨
で回わすと裏ネーム板がゆるくなり
ます。ゆるくなったら写真のように
ネーム板を直角にずらすとカバーを
はずさずに電池の交換ができます。
電池は⊕面をネーム板側(外側)に
して装填してください。⊕と⊖を逆
にするとメーターが振れま
せんので注意してください。

●使用上の注意●

1. 長時間湿気の多い場所に置かないでください。
2. 60℃以上の場所にメーターを置かないでください。
3. ショックはさけてください。
4. 長期間使用しないでおく場合にはケースと電池をはずし、湿気を与えないように木の箱などに入れて保存してください。尚、スチール製の箱、机の引出しはさけてください。
5. 水銀電池を装填するときには電池の汚れや指紋をよくふいて接触不良や接片の腐蝕の原因を除いてください。

反射式露出計の測り方

セコンニックオートレンジを十分に使いこなすには基本的な露出の測定法を身につけなければなりません。

●風景の露出測定●

風景の露出を反射式で測定する場合、露出計を水平に持って測ると空からの強い光が受光部に入るため、目的の風景そのものが露出不足になります。従って露出計はかならず地平線と足元の間に向けて測るようにします。

展開した風景——近景及び中景の撮影では上記の方法で十分に適正露出が求められますが、広く展開した風景や遠景の場合には露出を $\frac{1}{2}$ 目盛りつめて撮影しま

す。例えば露出計の指示がF 11で $\frac{1}{250}$ 秒ならば $\frac{1}{2}$ 露光をきりつめるわけですから、 $\frac{1}{250} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{500}$ 秒となりF 11・ $\frac{1}{500}$ 秒でシャッターを切ります。

日没のシルエット撮影——日没の空を背景に風景をシルエットにする場合、露出計は受光部をバックの空に向けて測り、露出計の指示通りで撮影します。



ポートレートの露出測定

人物撮影に限らず光のコントラスト及び照明のコントラストの条件によって露出の測定方法が違ってきます。

ハイキートーン・ローキートーン——被写体が明るく主として明るい中にトーンが生きている場合をハイキートーンと云います。このような場合には露出計の指示通りに露出を決めますが、雪中や浜辺の人物などでは周囲がハイキートーンの被写体であるため人物が露出不足になり易いので人物に近づいて露出の測定をします。また、ローキートーンの被写体ではすべてが逆になります。

強コントラストの人物——明暗差の強い被写体ではフィルムのラチチユードぎりぎりに撮影しますので露出の測定に注意しなければなりません。このような被写体の測定では人物にできるだけ近寄って明るい部分と暗い部分を測定し、その中間値に露出を合わせます。但し、興味のポイントが明るい部分にあるならば明るい部分を測定してその露出に合わせ、暗い部分ならばその逆になります。

このようなコントラストの人物の撮影が難しい場合には光線状態のやわらかい場所を選んで、順光の位置に人物をおいて撮影します。

オートレンジ model
L-216

現金正価 本体 ¥ 3,100
ケース ¥ 400
